

図書館をもっと便利に！

市立図書館・新メニューのご紹介

市立図書館では、図書館をより多くの方に使っていただくことができるよう、新しいサービスを始めています。

始まっています

WEBサービスがはじまりました

今年の6月から、中学生以上の方は、ご自宅のパソコンや携帯電話を使って市立図書館のホームページから①貸出・予約などの利用状況の確認 ②貸出中資料への予約（「WEB予約」）ができるようになりました。

今までは、図書館カウンター・移動図書館しらさぎ号・電話でしか予約申し込みができませんでしたが、「WEB予約」を利用すればPCや携帯を使って「いつでも」「どこからでも」予約ができます。

この「WEB予約」では、予約資料の用意ができた時にメールでお知らせします

ので、「留守がちで電話がとれない」などの理由で今まで予約サービスを利用されていなかった方も、この機会にぜひご利用ください。

なお、WEBサービスを利用するには仮のパスワードが必要です。市立図書館で発行しますので、図書館の利用カードと証明書（免許証・学生証など）をお持ちになってご来館ください。



始まっています

市立図書館と学校図書館が同じ図書館システムでつながりました

今年3月、市立図書館と市内の小学校（8校）、中学校（5校）、高等学校（2校）、専門学校（1校）が同じ図書館システムに統一されました。

市立図書館と学校図書館で所蔵する図書などの資料がひとつに管理されることにより、市内の“どの場所”に“何の本”があるのかが一目でわかるようになりました。ある学校図書館で、生徒の希望する本がなくても、市内の他の図書館にあれば、学校司書がその館に依頼し取り寄せることができます。

今までも、市立図書館と学校間の物流を担う定期便の運行（メール便）や、学校図書館を支援する職員を市立図書館へ配置する（学校図書館支援センター）など、市立図書館と学校の連携に力を入れてきた市教育委員会ですが、今回システムが統一されたことによって、「市立図書館～学校間」や「学校～学校間」の連携がより深まり、子どもたちの読書環境がさらに充実することが期待されます。



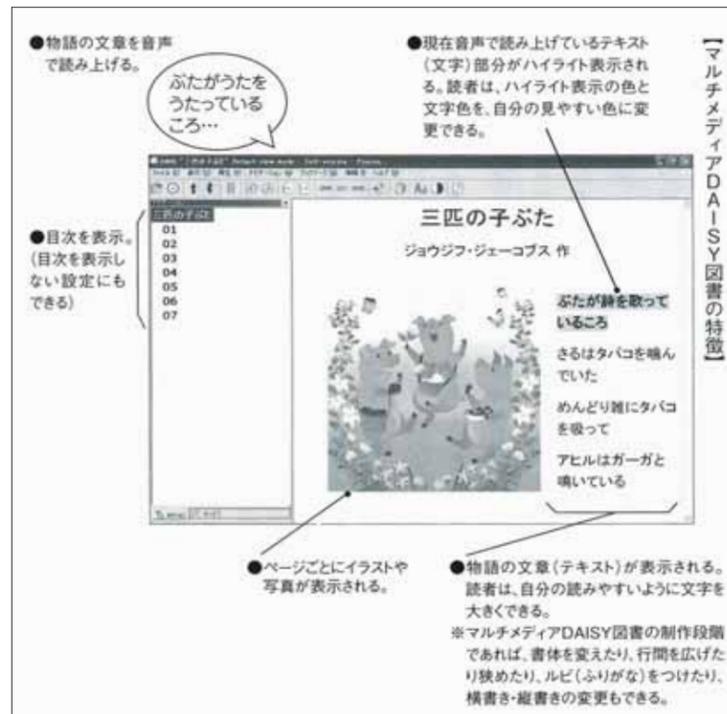
来年1月からです

マルチメディア DAISY(デイジー)をご利用ください

DAISYとは「Digital Accessible Information System」の略称で、「一般の印刷物を読むことに障害のある人々のために開発されたデジタル図書の国際標準規格」のことです。

視覚に障害がある人が利用する“デジタル録音図書”の「DAISY」を発展させた「マルチメディアDAISY」は、音声に加えて、同じ内容のテキストや画像を同時にパソコンの画面に表示させることができるので、読み書きに障害のある人も読書を楽しむことができます。

市立図書館ではこの「マルチメディアDAISY」を40タイトル購入しました。来年1月より、お1人1点まで2週間ご利用いただけます。



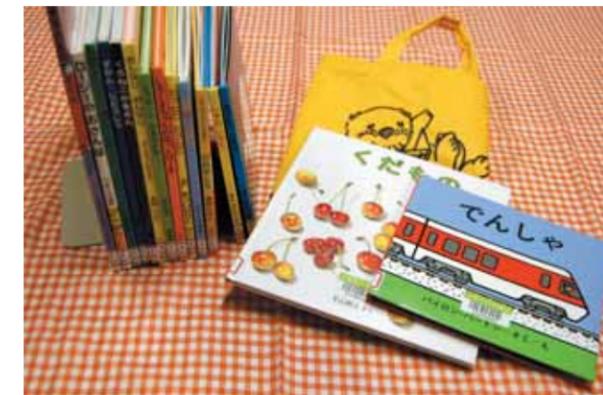
『L.L.ブックを届ける』(藤澤和子・服部敦司編著 読書工房刊)より

来年1月からです

赤ちゃん絵本パックの貸し出しをはじめます

来年1月より、0歳から2歳くらいのお子さん向けの絵本15冊をセットにした「赤ちゃん絵本パック」を、1家庭1セット1か月間借りることができるサービスをはじめます。

小郡市では平成15年より10か月児健診の時に、絵本で赤ちゃんと一緒に楽しい時間を過ごしてもらおうよう絵本2冊をプレゼントしています。ブックスタートの会場で赤ちゃんに絵本を読んでみせると、お母さんが驚くほど赤ちゃんは絵本をじっくり見て楽しんでいきます。周りの大人が絵本を読み聞かせ、たくさん声をかけてあげることは、赤ちゃんの成長にとってとても大切なことです。「ブックスタートの時に、図書館に乳幼児向けの絵本があるって聞いたけど、赤ちゃん連れて図書館まで出かけるのはたいへん…」と思っていた方は、ぜひご利用ください。



◎問い合わせ先 市立図書館 ☎72-4319 ファクス 72-3501
ホームページ <http://www.library-ogori.jp>